

◆ 今週のコメント

- ・ **アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)**の報告が1例(男性, 60歳代)あります。推定感染地域は国内で, 推定感染経路は性的接触(異性間)です。平成23年の累積報告数は21例で, 平成19年の22例に次いで多くなっています。推定感染経路は性的接触が9例, 経口感染が5例, 不明・その他が7例です。性別は男性 20例, 女性 1例で, 年齢階級別は, 40歳代及び60歳代 各6例(28.6%)で最も多く, 次いで30歳代及び50歳代 各4例(19.0%), 70歳代 1例(4.8%)となっています。
- ・ **感染性胃腸炎**の定点当たり報告数は, 8.36(326例)で, 先週(6.38)より増加しています。年齢階級別では, 広範囲での報告となっていますが, 1歳が53例(16.3%)で最も多く, 次いで2歳 41例(12.6%), 3歳及び4歳 各34例(10.4%)で, 1歳～4歳が49.7%を占めています。例年冬季に報告数が多くなっていますので, 御注意下さい。

◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

インフルエンザの定点当たり報告数は, 1.11(73例)と先週(0.56)の約2倍で, 流行の指標である「1.00」を超えて流行期に入りました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類: 結核 4例(肺結核 1例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 3例)うち喀痰塗抹陽性 なし
【1月以降の累積報告数 450例(肺結核 220例, その他結核 83例, 潜在性結核感染者 147例)うち喀痰塗抹陽性 119例】
- ・ 五類: アメーバ赤痢(腸管アメーバ症) 1例【1月以降の累積報告数 21例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点66, 小児科定点39, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	1.11	73
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	8.36	326
	② 水痘	1.18	46
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.08	42
	④ 手足口病	0.82	32
	⑤ 突発性発しん	0.46	18
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

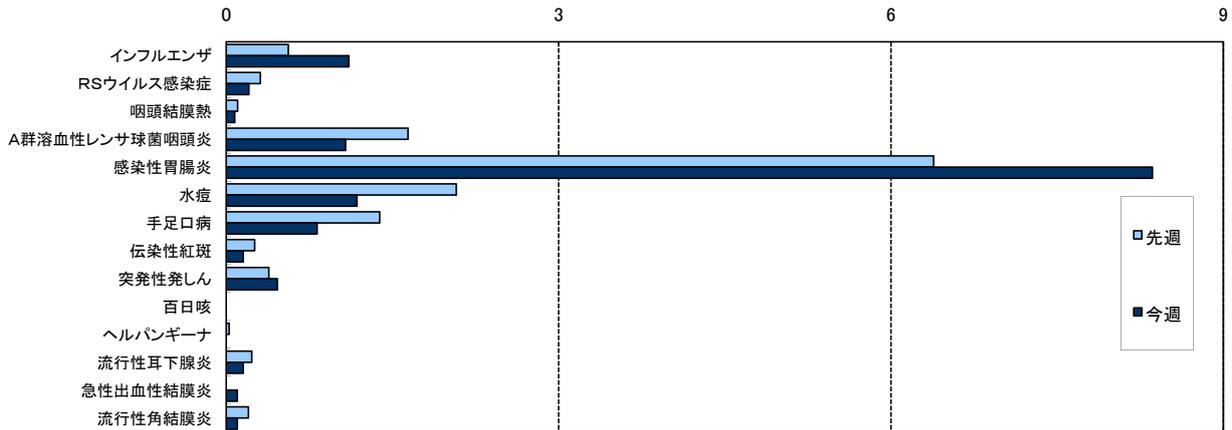
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>

(注) 京都市のデータは, 平成24年1月4日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

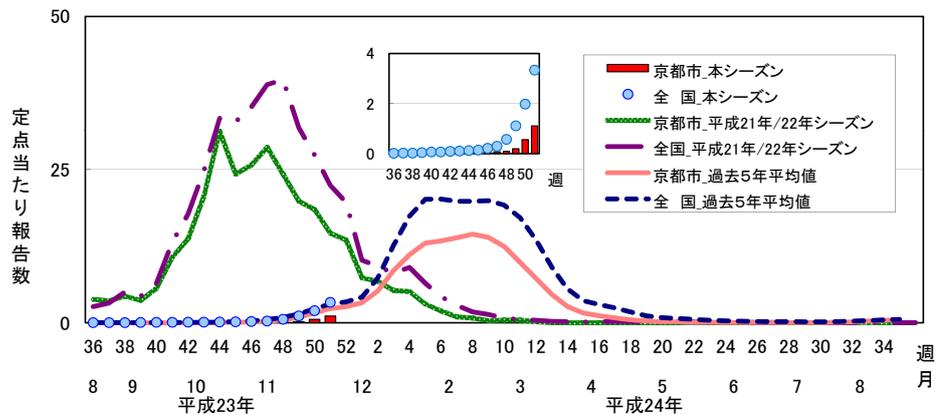
◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第51週)と先週(第50週)の定点当たり報告数の比較



2 インフルエンザの推移

週	報告数(例)
第47週	5
第48週	6
第49週	13
第50週	37
第51週	73
累積報告数(第36週以降)	150

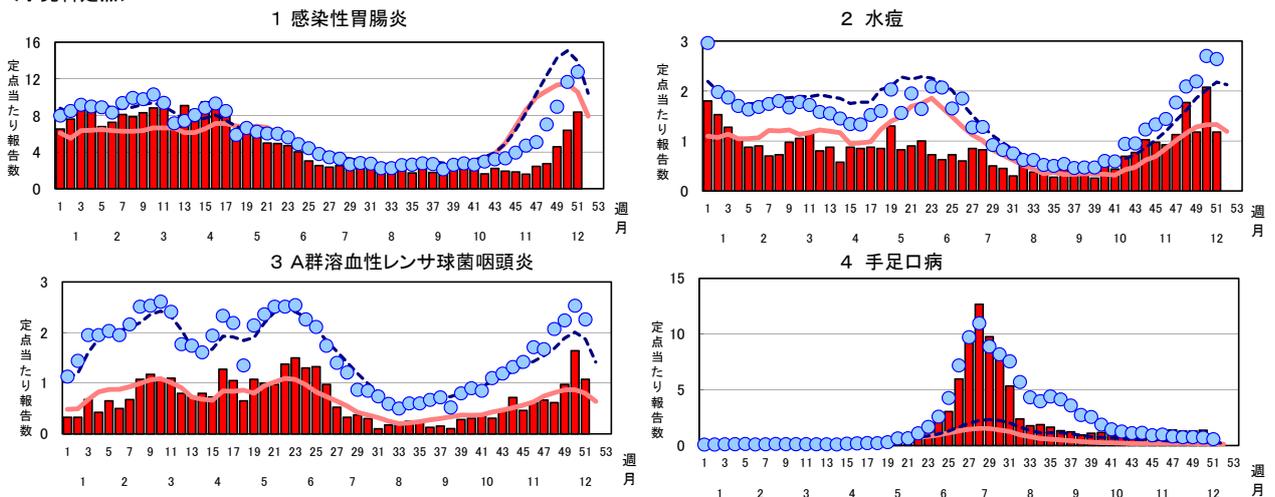


※平成21年/22年シーズンは、新型インフルエンザの発生により、例年と流行傾向が大きく異なるため、別に表記しています。過去5年平均値は、36-52週はH17-H20年及びH22年、1-35週はH17-H21年の平均値です。

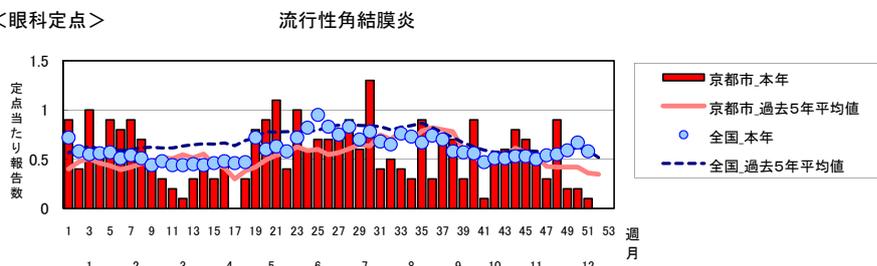
※京都市のインフルエンザ発生状況の詳細を下記に掲載しています。
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000071285.html>

3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



第51週(12月19日～12月25日)トピックス: <インフルエンザ>

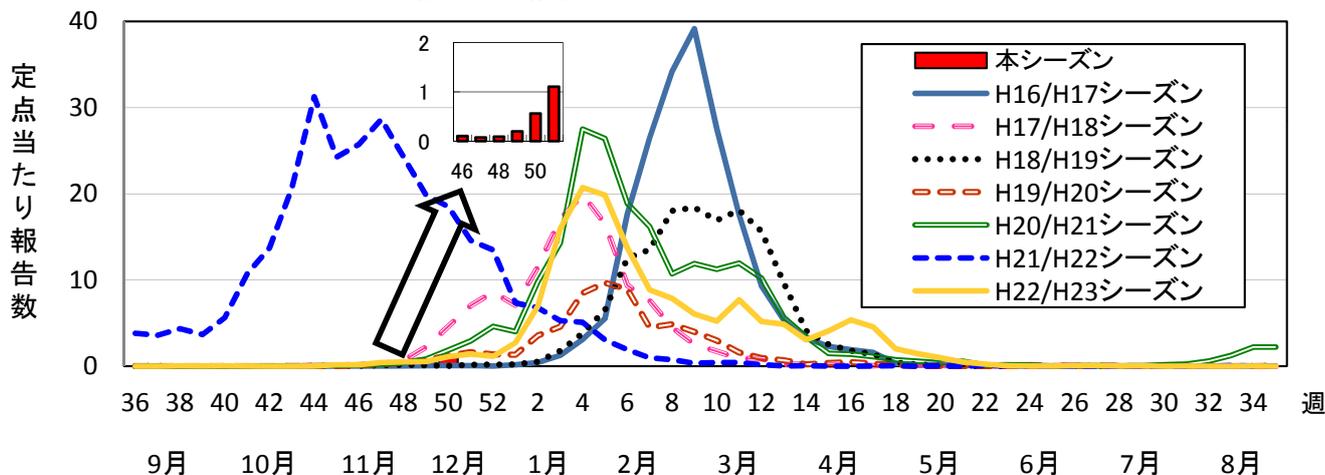
インフルエンザの定点当たり報告数は、1.11(73例)と先週(0.56)の約2倍で、流行の指標である「1.00」を超えて流行期に入りました。全国においては、すでに第49週(平成23年12月5日～11日)に「1.00」を超えており、流行期に入っています。京都市の過去のデータ(平成16/17～23/24年シーズン)をみると、インフルエンザ(H1N1)2009の流行のあった平成21/22年シーズンを除いて、定点当たり報告数が1.00を超えたのち、6～7週間で流行ピーク(定点当たり報告数9.68～39.15)を迎えています。今後の動向にご注意ください。

行政区別では、すべての行政区で報告があります。

京都市衛生環境研究所では、平成23年12月にインフルエンザウイルスA(H3)型を1例分離、検出しています。

なお、全国のインフルエンザウイルス分離検出報告数は、A(H3)型 374例、B型 43例、A(H1)pdm09 2例となっています。(平成24年1月5日現在)

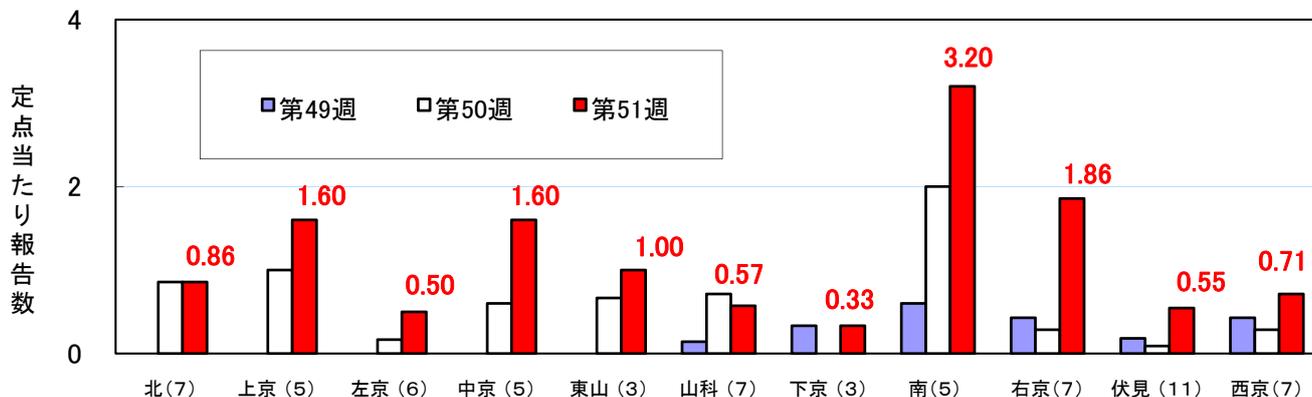
定点当たり報告数の推移(平成16/17～22/23年シーズン)



定点当たり報告数1.00超の週からピークの週までの期間(平成16/17～23/24年シーズン)

シーズン	H16/H17	H17/H18	H18/H19	H19/H20	H20/H21	H21/H22	H22/H23	H23/H24
1.00超の週	第3週	第49週	第3週	第50週	第50週	第33週	第50週	第51週
ピークの週	第9週	第4週	第9週	第5週	第4週	第44週	第4週	
ピーク時 定点当たり報告数	39.15	19.91	18.41	9.68	27.51	31.35	20.73	
期間	6週間	7週間	6週間	7週間	6週間	11週間	6週間	

行政区別 発生状況の推移



()内は行政区別のインフルエンザ定点医療機関数